



ESC情報

新春号



謹賀新年

皆様、明けましておめでとうございます。

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症は全国的な流行が続いている状況ですので、この年末年始の期間は自宅でゆっくりされた方が多かったのではないかと思います。私もあまり外には出ず、除雪と自転車の部屋乗り（ZWIFT+スマートトレーナー）、自宅飲み等を行いゆっくり過ごしておりました。

さて、皆様は年初にあたり今年の目標を何か立てたでしょうか。私事であれ、仕事に関するものであれ、何か一つでも目標を立て、それに取り組むことで自己の成長に繋がることと思います。昨年の反省を活かした目標もあるでしょうし、これまでとは全く視点の違う目標でも構わないでしょう。もし、まだ目標を定めていない方がいらっしゃいましたら目標とそのマイルストーンを描いてみてはいかがでしょうか。

身近な小さな目標としては「健康管理」というものがあります。年末年始は例年より外食の機会が少なくなったと思いますが、逆に自宅で「食べて、飲んで、寝転んで」という人が多かったのではないのでしょうか。常日頃より体を動かす習慣をつけておかないと、不摂生が祟るといろいろな不具合が体に出てくることとなります。

当社は4月に全社健康診断が行われております。よく「健康診断の1週間前」という事で食べたり飲んだりする量を減らす人を見受けられます。この程度では血液検査などで値が良くなると思えません。これらは数か月かけて数値が徐々に変わっていくものです。血中脂質やコレステロール値、BMI値など、生活習慣病に気を付けなくてはならない予備軍が若手社員にも多いような結果が出ています。新たなる2021年を迎え、牛飲馬食とならないように気を使い、日頃より運動習慣を身に付け昨年よりも健康な体となれるよう気をつけてもらえればと思います。健康な体が培われれば、仕事に対する意欲もより一層湧いてきます。風邪もひきにくくなります。

この一年、全従業員並びに本ESC情報をお読みになっている皆様が健康であり、且つ意欲に燃えて充実した結果を年末に迎えられるよう祈念申し上げます。

新年の 希望に燃ゆる決意持ち 信ずる道を 拓きて進む

一人一人が信念を持ち、地に足を付けてしっかりと取り組むことで、充実した一年を過ごすことができると信じています。安全第一、無事故無災害でこの一年を良い年にしていきましょう。



代表取締役 向井 潔

新年明けましておめでとうございます

従業員の皆様、昨年のご苦勞様でした。
激動の年でしたが皆様の努力とお客様のご配慮により
無事に越年することが出来ました。

苦勞の原因は、皆様ご承知のとおりコロナ禍により私
達だけではなく、日本そして世界が変わって仕舞いまし
た。特に航空を含め旅行業と飲食業は死活問題です。

年を越えての課題は、電話料金と共に電気も他人事で
はありません。

脱炭素問題として太陽電池と風力発電、その先に発電
所の脱化石燃料と自動車の電動化が待っています。言うは易いが実行は大変な困難を伴います。

その延長線上に原発があります。この北海道では、泊発電所の早期の再稼働を期待しています。
勿論、廃棄物は当面无縁と思いますがやはり考慮しておく必要があると考えます。

年末には陸奥が話題になりましたが、私は日本地図を俯瞰して考えればやはり人口密度が少ない
北海道で引き受けるのが自然の成り行きと思います。

泊地区は電源としては適地ですが、廃棄物処理場としては国土の東端、人口密度が少ない所を
選定すべきと考えます。

新年は、新型コロナウイルスが収まり、良い年になることを期待したいところですが先が見え
ません。

私どものような零細企業には無縁の様ですが、やはり社会の変化に影響を受けます。

近々の問題として尖閣諸島には、中国の大型軍艦が2隻張り付いており日本は排除出来ないで
います。中国は先般香港を強引に自国とし、次は尖閣と台湾、沖縄を含む日本も狙っているよう
に見えます。

米国は、長年日本と同盟国でしたが共和党のトランプ氏から民主党のバイデン氏に替わる予定
です。米国では大きな政変です。私達の生活にも影響が及ぶかも知れません。

今年4月で弊社も創立50周年を迎えます。お客様をお招きして50周年の記念式典を開催す
べく準備していましたが、これもコロナ禍の影響により日程を確定出来ないでいます。

種々多難な問題も多くありますが皆で知恵を集めてこの難題を乗り越え良い年末を迎えましょ
う。



取締役相談役 向井 隆





令和3年始動いたします！

令和3年の始まりを社員一同無事に迎えることができました。

本年もこの顔ぶれで、お客様に満足いただける製品やサービスを提供していく所存です。
全社一丸となって頑張ってまいります。どうぞ本年も宜しくお願い申し上げます。



社 是

社 是

- 一、当社は、北海道の電力から電子まで電気全般の技術サービスを行い北海道の文化の向上と発展に貢献します。
- 一、技術サービスを通じ顧客の要望に応えることは勿論、私共の技術分野で提言を惜しまず顧客の立場を理解したサービスを行います。
- 一、北海道の自然の条件を活用し、日本で最も文化水準の高い住みよい環境作りに努めます。
- 一、私共は、北海道で生活する一員として能力を結集し会社の発展に尽くし、社業の進展を通して豊かな生活を獲得します。
- 一、この目的達成のために教養はもとより、専門分野でプロの自覚と認識によって自己研鑽を積み、日常の仕事に生かします。



編集後記



新年明けましておめでとうございます。

皆様には穏やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年を振り返ると、新型コロナウイルスで始まり、新型コロナウイルスで終わった1年だったと感じています。新年早々新型コロナウイルスの話題が出始めたと思ったら、あっという間に世界中に蔓延し、誰もがこれまで経験したことの無い1年を過ごされたことと思います。様々な場面で制限などが行われ、これまで出来て当たり前だと思っていたことが出来ないという不自由さを感じ、普通だと思っていたことは決して普通ではないのだと痛感した方も多いのではないのでしょうか。

経済面でも大打撃を受け、また、医療従事者の方々は日々感染リスクと隣り合わせの中、大きな負担を強いられながらも奮闘してくれています。

現在もなお、感染者は増加し続けており、更には変異種まで出始めている中で、私たちは感染しないように一人ひとりが日々気を付けることしか出来ませんが、1日でも早く終息することを願っております。

話は変わりますが、私はフルーク製品の販売・修理・校正などを担当しております。

旧年中にお問い合わせ・ご購入いただきましたお客様にはこの場をお借りしまして、心より厚くお礼申し上げます。本年もたくさんのお問い合わせをお待ちしております。

最後になりますが、今年も皆様が心身ともに健やかに過ごせますようお祈り申し上げます。

営業部 藤根 香緒里



ESC 情報NO. 156 新春号



発行所 北海道電気技術サービス株式会社
〒069-0832

北海道江別市西野幌120-8

TEL(011)384-8888 FAX(011)384-8889

<http://www.hesc.co.jp/> e-mail:hesc@hesc.co.jp

発行者 向井 隆

編集者 総務部

